科 目 コード	62110 授業 科目	継続保健看護教育 II Continuing Education in Nursing and Health II 担当 教員)嘉手苅英子 宮里智子 舟島なをみ(非常勤) 非常勤		
開講年次	博士後期課程 1年次後期			授業	講	義				
選択必修	選択	時間数	30 時間	分類	1	ノ 付 日	形態	中	我	
講義概要	看護基礎教育課程から卒後の継続教育に至る看護生涯教育の現状と課題の理解を前提に、 看護専門職のキャリア開発と看護生涯教育への支援システムの構築について教授する									
到達目標	1 看護における専門分化の方向性とエキスパート・ナース育成の必要性について説明できる。 2 看護専門職のキャリア開発と看護生涯教育への支援システムについて考察できる。 3 看護基礎教育から継続教育に至る看護生涯学習の現況と課題について理解を深める。									
講義回数		‡	担当者名							
第1回	「継続保健看護 看護基礎教育		嘉手苅 宮 里							
第3回 第4回	看護職者の生活 人間のライフ		非常勤(未定)							
第5回第6回	人間の成熟過 同		宮 里							
第7回 第8回	研究(文献)からみた看護職者のキャリアの実態と課題 同							宮 里		
第 9 回 第 10 回	エキスパートナース (専門看護師、認定看護師) 育成の現状と課題 同							嘉手苅		
第 11 回 第 12 回	看護における専門分化とその方向性 (米国の動向との比較) 同							嘉手苅		
第 13 回 第 14 回	研究からみた看護継続教育の課題 同							舟島なをみ		
第 15 回	総括		嘉手苅 宮 里							
テキスト	指定はない。関	連資料、文	献などを適宜	配布する) _o					
参考文献	初回講義で紹介する									
成績評価 の方法	講義への参加状況(討議への参加、プレゼンテーション)、レポート									
備考	授業は院生のプレゼンテーション・討議を中心に進める。									

科 目 コード	62121 授業 科目		保健看護 (研究デサ th Nursi (Reserc	ドイン ng Re	編) esearc	ch II		担当教員	〇神里 前田 玉城	みどり 和子(非 清子(非	
開講年次	博士後期課程 1年次前期	単位数	2 単位		科目	Ę	専門科	·目•=	ア科目	授業形態	講義
選択必修	選択	時間数 30 時間			分類						
授業概要	この科目は保健看護と研究 I で研究の基礎を学んだ後に履修するオムニバス科目である。この科目では博士論文の研究計画を書くために必要な基本的知識を学ぶ。量的研究、質的研究、混合研究法をデザインしていく際に必要となる概念枠組み、研究プロセスとそのアプローチについて、必要な基本的知識を学ぶ。										
到達目標	1.研究計画をデザインする際に必要な基本知識を、学生自身の修士論文を材料に説明できる。 2.博士論文の研究計画を書き上げるまでのプロセスに必要な基本的知識を説明できる。										
回 数			内 容	及	び	計	画				当者名
第1回	オリエンテーショ 研究デザイン	ン、								神前	
第2回	デザインの枠組み① デザインの枠組み②							前	前田		
第3回	文献レビュー① ゲストスピーカー:私の戦略							神	神里		
第4回	文献レビュー②							神	神里		
第5回	執筆作戦と倫理的配慮							前	前田		
第6回	序論について							前	前田		
第7回	目的の言明							前	前田		
第8回	研究上の問いと仮説							前	前田		
第9回	理論の活用							神	神里		
第 10 回	定義、限界、意義							神	神里		
第 11 回	量的研究法の研究計画							玉	玉城		
第 12 回	質的研究法の研究計画							神	神里		
第 13 回	混合研究法の研究計画							神	神里		
第 14 回	看護学発展のための研究①							非	非常勤		
第 15 回	看護学発展のための研究②							非	非常勤		
テキスト	John W. Creswell. (2003/2007).	操華子,	森岡紀	崇 (訳)) ,	研究デ	゙゙ザイン	. 日本看該	隻協会 出版	克会.
参考文献	・J.W.クレスウェル他著、大谷順子訳:人間科学のための混合研究法.北大路書房.2010 ・ビヴァリー M. ヘンリー著・上田礼子監訳: 看護研究ハンドブック. 医学書院、2004 ・キャロル・ガービッチ著,上田礼子他訳:保健医療職のための質的研究入門. 医学書院、2003 ・D. F. Polit & C.T.Beck (2004/2011). 近藤潤子 (監訳),看護研究 原理と方法. 医学書院. ・澤田昭夫著 その他、適宜、参考文献、課題文献等を示します。										
成績評価 の方法	・出席状況、事前準 ・学生の出席、パフ									度を評価	(前田)

- ・集中講義で行いますが、都合により講義の順序は入れ替わることがあります。
- ・すべての授業に出席し、活発に参加することが求められます。
- ・授業は講義、PBL、ゼミナール形式など多様な方法で行います。
- ・学生のチームワーク、創造性、革新性が強く期待されます。

備考